

2023年5月23日に合同開催した株主総会および取締役会で スラヴォミール・クルパを最高経営責任者(CEO)に任命

プレスリリース

パリ、2023年5月23日

合同株主総会

ソシエテ・ジェネラルは、2023年5月23日に、パリのカンファレンスセンター「メゾン・ドゥ・ラ・ミュチュアリテ」で定時株主総会を開催しました(議長:ロレンツォ・ビーニ・スマギ)。

53.45%の株主の議決権が行使され、過半数の定足数を満たしました(2022年は54.83%)。

- 681名の株主が2023年5月23日に株主総会が開催された会場に直接出席
- 本株主総会では、914名の株主の議決権は議長以外の者に委任
- 1万1,605名の株主がインターネットにより議決権を行使
- 2,754名の株主が郵便により議決権を行使
- インターネットにより議決権を行使した7,244名を含む9,839名の株主(株式資本の1.01%に相当)が議長に委任状を提出
- 合わせて2万5,793名の株主が、規則に従って、出席または委任により、議決権を行使

本議案は、当グループのエネルギー転換計画と社会と環境に対する責任について株主の皆さまにご説明し、議論する機会を提供するものであり、議決の対象ではありません。

また、株主総会に先立ち、13名の株主さまから書面によるご質問をいただきました。当社からの回答は、株主総会前に、機関投資家向けウェブサイトにて公表させていただいております。

取締役会が提案した決議は全て採択されました。代表的なものは以下の通りです。

- 2022年度のソシエテ・ジェネラルの年次会計報告書およびグループの連結年次会計報告書
- 1株当たり配当金は1.70ユーロに設定された。配当の権利落ち日は2023年5月30日とし、2023年6月1日から支払われるものとする
- 4人の取締役を4年の任期で任命:スラヴォミール・クルパ、ベアトリス・コサ・デュミュルジエ、ウルリカ・エクマン、ブノワ・ドルフレ
- 会長、最高経営責任者(CEO)、最高経営責任者代行および取締役の報酬に関する方針
- 会長、最高経営責任者および最高経営責任者代行に対して2022年度に支払われた、または認められた報酬およびすべての手当の構成項目
- 2022年度に規制対象者に支払われた報酬については、好意的な意見が出された
- 取締役会に付与された普通株式を購入する権限を、株式資本の10%を上限として18カ月間延長
- ソシエテ・ジェネラルまたはグループ社員向け貯蓄制度の枠組みで従業員に株式の発行を可能とする増資実施の権限を26カ月間延長
- 従業員から選出された取締役の任期を4年とすること、および会長の定年年齢を74歳を上限とすることに関する定款の改正

議決権行使結果の詳細は、本日より当社ウェブサイトの「年次株主総会」の項目に掲載しておりますので、ご参照ください。

取締役会

2023年5月23日開催の株主総会で4名の取締役の任命が決議されたことで、当社取締役会は以下の体制となっています(敬称略)。

- ロレンツォ・ビーニ・スマギ(議長)
- スラヴォミール・クルパ(取締役)

- ウィリアム・コネリー(取締役)
- ジェローム・コンタミーヌ(取締役)
- ベアトリス・コサ・デュミュルジエ(取締役)
- ディアヌ・コート(取締役)
- ウルリカ・エクマン(取締役)
- フランス・ウーセイ(従業員から選出された取締役)
- アネット・メッセマー(取締役)
- アンリ・プパール・ラファルジュ(取締役)
- ヨハン・プラウド(従業員から選出された取締役)
- ルボミラ・ロシェ(取締役)
- ブノワ・ドルフレ(取締役)
- アレクサンドラ・スチャプルド(取締役)
- セバスチャン・ウェッター(従業員株主代表取締役)
- ジャン・ベルナル・レヴィ(議決権を持たない取締役/監査役)

本株主総会の最後に、取締役会は、指名・コーポレートガバナンス委員会の提案に基づき、全会一致でスラヴォミール・クルパ氏を最高経営責任者に任命しました。会長と最高経営責任者の職能は、フランス通貨金融法典第 L. 511-58 条に従い、引き続き分離されます。

取締役会のロレンツォ・ビーニ・スマギ議長は、次のように述べています。

「取締役会は前 CEO フレデリック・ウデア氏と、任期満了を迎えた経営陣に対し、心より感謝の意を表します。我々はウデア氏がこの 15 年間、経営トップとして達成した多くの功績を称賛します。同氏は CEO 就任後、危機に耐えビジネスモデルを適応させる能力を発揮し、その後フランス国内ではソシエテ・ジェネラルとクレディ・デュ・ノールのリテール バンキング ネットワークの統合をはじめ、ブルソラマの設立、ALD によるリースプランの買収、アライアンス・バーンスタインとの合併、ロシアからの撤退といった重要な戦略的イニシアチブを開始または拡大しました。

また、取締役会一同、スラヴォミール・クルパ氏の最高経営責任者就任を大変喜ばしく思います。クルパ氏には、新しい経営体制の下、『責任ある革新的な金融ソリューションを通じて、お客さまとともにより良い持続可能な未来を築く』という当社の企業目標を尊重しながら前経営陣の取り組みを追求し、株主の皆さま、お客さま、そして当グループ全体のより大きな利益のために、さらなる変革を進めていくことを期待しています。」

取締役会は、指名・コーポレートガバナンス委員会に諮った結果、2023 年 3 月 9 日付の[プレスリリース](#)で発表した通り現行の規制に従い、フィリップ・エイムリッシュおよびピエール・パルミエリを 2023 年 5 月 23 日付で最高経営責任者代行に任命する、最高経営責任者が行った提案を満場一致で承認しました。最高経営責任者および最高経営責任者代行は、銀行規制(フランス通貨金融法典 L.第 511-13 条)が規定する実質的経営者です。

尚、新任の最高経営責任者および最高経営責任者代行の雇用条件については、取締役会において決定しております。

商法 L 第 225-23 条第 1 項、商法 L 第 225-27 条第 2 項及び AFEP-MEDEF コードに従い、従業員を代表する取締役 3 名を除外すると、取締役会は現在女性が 50%、独立取締役が 90%以上(12 名中 11 名)を占めています。

本株主総会後に開催された取締役会において、2023 年 5 月 23 現在の取締役会委員会の委員構成を以下の通り決定しました(敬称略)。

- **監査・内部統制委員会:**アレクサンドラ・スチャプルド(委員長)、ジェローム・コンタミーヌ、ディアヌ・コート、ウルリカ・エクマン、セバスチャン・ウェッター
- **リスク委員会:**ウィリアム・コネリー(委員長)、ベアトリス・コサ・デュミュルジエ(2024 年以降、本年度オブザーバー)ディアヌ・コート、ウルリカ・エクマン、アネット・メッセマー、アレクサンドラ・スチャプルド
- **報酬委員会:**ジェローム・コンタミーヌ(委員長)、ブノワ・ドルフレ、フランス・ウーセイ、アネット・メッセマー
- **指名・コーポレートガバナンス委員会:**アンリ・プパール・ラファルジュ(委員長)、ウィリアム・コネリー、ブノワ・ドルフレ、ルボミラ・ロシェ

略歴

スラヴォミール・クルパ(Slawomir Krupa)

生年月日:1974年6月18日

国籍:フランスおよびポーランド(二重国籍)

パリ政治学院(Institut d' Études Politiques de Paris)卒業後、国際銀行業務を中心に27年間にわたり銀行業務に従事。1996年ソシエテ・ジェネラル・グループの一般検査部門に入社。2007年からはコーポレート&インベストメントバンキング部門に異動し、多岐にわたる業務を担当。2007年戦略・開発部門責任者、2009年中東欧・中東・アフリカ部門責任者、2012年財務部門責任者代行を歴任。2016年1月SGアメリカのCEOに就任。2021年1月、グローバルバンキング&インベスターソリューションズ担当の最高経営責任者代行として、グループ経営陣の一人となる。当グループのフランス非上場子会社であるソシエテ・ジェネラル・フォルジュの取締役を兼務。

勤務地:Tours Société Générale, 17, cours Valmy, CS 50318, 92972 La Défense cedex

ベアトリス・コサ・デュミュルジエ(Béatrice Cossa-Dumurgier)

生年月日:1973年11月14日

国籍:フランス

1997年に理工科学校(École Polytechnique)、2000年に国立土木学校(École nationale des ponts et chaussées)の特設進学コースである土木行政職団(Corp des Ponts et Chaussées)卒業、米マサチューセッツ工科大学で2000年に理学修士号取得。フランスと米国のマッキンゼーでキャリアを開始し、2000年にフランス財務省入省。財務局を皮切りに、フランス国家投資庁にも勤務。2004年BNPパリバ・グループ入社、2019年までG100内で様々な戦略やオペレーション及び管理職を務めた後、オンライン証券子会社の最高経営責任者と国内市場執行委員会のメンバーを務めた。2019年にブラブラカー最高執行責任者(COO)、ブラブラバス最高経営責任者(CEO)及び執行委員会メンバーとして入社。2022年9月よりビリーブ社ジェネラルマネージャー代行を務めた。ブジョー・インベスト、SPACトランジション及びカジノ・ギシャール・ペラコンの独立取締役も兼務。取締役会に対し、SPACトランジションおよびカジノ・ギシャール・ペラコンの任期は、遅くとも2023年度の財務諸表を承認する株主総会の時点では終了することを宣言している。

勤務地:24 rue Toulouse Lautrec - 75017 Paris

ウルリカ・エクマン(Ulrika Ekman)

生年月日:1962年10月6日

国籍:米国およびスウェーデン(二重国籍)

ニューヨーク大学法科大学院で法務博士(J.D.)、ニューヨーク大学で歴史学修士、ジョージタウン大学で外交政策・国際関係の学士を取得。1990年~2004年、米国の国際的法律事務所であるデービス・ポーク法律事務所のパートナーとして、M&A、スピンオフ、売却、事業再編など、幅広いセクターにまたがる米国内およびクロスボーダーの複雑なトランザクションで顧客企業の代理人を務めた。2004年~2012年、グリーンヒル社経営委員会メンバー。現在は同社取締役会の独立取締役であり、指名・ガバナンス委員会の委員長、報酬委員会の委員を務めている。グリーンヒルは、五大陸各地に設置した複数の拠点から、企業・各機関・各国政府に対しM&A、リストラクチャリング、融資、資金調達に関する財務アドバイザーサービスを提供する独立系大手投資銀行。

勤務地:Tours Société Générale, 17, cours Valmy, CS 50318, 92972 La Défense cedex

ブノワ・ドルフレ(Benoît de Ruffray)

生年月日:1966年6月4日

国籍:フランス

理工科学校(École Polytechnique)および国立土木学校(École Nationale des Ponts et Chaussées)を卒業、インペリアル・カレッジ・ロンドンで修士号取得。1990年ブイグ・グループ入社。大規模な国際プロジェクトを主導した後、2001年ラテンアメリカ地域責任者へ就任。2003年~2007年は同社傘下であるドラッチ香港の最高経営責任者を務め、2008年ブイグ・パティマン・インターナショナル副社長就任。2015年、ヴァンシグループ傘下のソレタンシュ・

フレシネグループ CEO 就任。その後、2016 年 1 月 18 日にエファージュ会長兼最高経営責任者、2023 年 4 月 27 日よりゲットリンクの取締役に就任。

勤務地:3-7 place de l'Europe, 78140

フィリップ・エイメリッシュ(Philippe Aymerich)

生年月日:1965 年 8 月 12 日

国籍:フランス

フランスのパリ経営大学院(HEC, École des hautes études commerciales de Paris)卒業後、1987 年ソシエテ・ジェネラル入社。検査部門で多岐にわたる分野の監査および助言業務に従事し、1994 年に検査責任者として任命。1997 年同社コーポレート&インベストメントバンキングに移籍し、マドリードの SG スペイン副社長に就任。1999 年~2004 年ニューヨークで最高執行責任者代行を務め、その後 2000 年から SG アメリカにおけるコーポレート&インベストメントバンキング部門最高執行責任者に就任。2004 年コーポレート&機関投資家部門の自動車・化学品・一般産業グループ責任者、2006 年 12 月ソシエテ・ジェネラル・グループの最高リスク責任者(CRO)代行、2012 年 1 月クレディデュノールの最高経営責任者に就任。2018 年 5 月よりソシエテ・ジェネラル最高経営責任者代行。また、フランス国内のグループ非上場会社であるブルソラマとフランファイナンスの取締役および取締役会議長を兼務。

勤務地:トゥール ソシエテ ジェネラル、17, cours Valmy, CS 50318, 92972 La Défense cedex

ピエール・パルミエリ(Pierre Palmieri)

生年月日:1962 年 11 月 11 日

国籍:フランス

トゥールの高等商業学校(École Supérieure de Commerce)卒業後、1987 年にソシエテ・ジェネラルのコーポレート & インベストメントバンキング部門における輸出金融部でキャリアを開始、1989 年にファイナンスエンジニアリングチームの責任者に就任。1994 年アジャンス・インターナショナル入社、コモディティファイナンスのグローバル事業を立ち上げた。2001 年ストラクチャード・コモディティ・ファイナンスのグローバル責任者に就任、2006 年には天然資源・エネルギー部門のグローバル事業を立ち上げ、共同責任者となる。2008 年グローバル・ファイナンス責任者代行として任命され、2012 年グローバル・ファイナンス責任者就任後、2019 年グローバルバンキング&アドバイザリー事業全体に担当範囲を拡大。当グループの非上場子会社であるソシエテ・ジェネラル・マロカイン・デ・バンクの取締役を兼務。2023 年 5 月 24 日に予定されている ALD の株主総会において、同社取締役選任が提案される。

勤務地:Tours Société Générale, 17, cours Valmy, CS 50318, 92972 La Défense cedex.

表明

新たに任命された取締役、最高経営責任者、最高経営責任者代行は、他の取締役と同様に、ソシエテ・ジェネラルが 2023 年 3 月 13 日にフランスの金融市場庁(AMF)に提出した登録書類(番号 D.23-0089)の 158 ページの記載の利益相反のないこと、前科がないことについて、規制上の宣言を行った。

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルは欧州最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用し、強固な財務基盤とイノベーションにおける高い専門性を活かして、持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しています。ソシエテ・ジェネラルは、世界の地域社会と経済に有益な変化をもたらすことに尽力しており、責任ある革新的な金融ソリューションを通じて、日々お客さまとともにより良い持続可能な未来を築くことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 66 カ国の拠点に 11 万 7,000 人を超える従業員を擁し、2,500 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- **フランス国内リテールバンキング部門:**ソシエテ・ジェネラルとクレディデュノールの 2 つのネットワークが統合された SG とブルソラマがそれぞれ、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。

- **国際リテールバンキング、保険および金融サービス部門:**アフリカおよび中東欧にネットワークを有し、それぞれの市場において主導的地位を有する専門性の高いビジネスを展開しています。
- **グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門:**定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格である次の指数の構成銘柄です。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(欧州)、FTSE4Good(世界および欧州)、ブルームバーグ男女平等指数、リフィニティブ・ダイバーシティ&インクルージョン・インデックス、Euronext Vigeo(欧州およびユーロ圏)、ストックス・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックス、MSCI 低炭素リーダーズ指数(世界および欧州)。

本プレスリリースの信頼性に疑義がある場合には、societegenerale.com のニュースルームのページの最下部をご覧ください。ソシエテ・ジェネラルが送信した公式プレスリリースは、ブロックチェーン技術により認証可能です。リンクにより文書の正当性をウェブページ上で確認することができます。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター@societegenerale をご覧ください。